

メンターチームによる初任者研修を充実させる校内研修の在り方（第一年次）

ーピア・サポートを踏まえた研修を通してー

福島県教育センター 教育相談チーム 指導主事 遠藤 寛之

## 1 研究の趣旨

福島県教育委員会の「令和2年度 福島県の教育」における小・中学校教員の年齢別構成比から算出すると、小・中学校において50歳以上の教員が教員数全体の約半数を占めており、大量退職・大量採用が続くことが予想される。また、福島県の初任者研修においては、拠点校方式及び一人配置校方式に加え、令和元年度からメンター方式が導入されており、今後もメンター方式を導入する学校が増えることが見込まれている。メンター方式導入校における初任者教員は、メンターチーム<sup>※1</sup>として位置付けられている複数の校内指導教員等から、指導を受けることになる。先行的にメンター方式を導入している地方自治体においては、一般的な校内研修の内容と併せて、若手教員・中堅教員・ベテラン教員の各世代層の教員が初任者教員と関わる校内研修を実施することにより、初任者研修を充実させている。そこで、本研究においては、本県の初任者教員の実態から初任者支援の視点を明確にするとともに、メンター方式導入校における初任者教員を支援するためのピア・サポート<sup>※2</sup>を踏まえた研修を通して、メンターチームによる初任者研修を充実させる校内研修の在り方を探ることとした。

※1 初任者教員・若手教員・中堅教員・ベテラン教員等の教員が互いに学び合う中で、それぞれの教員が初任者教員に関わって指導助言する校内の教職員で組織されたチーム

※2 同僚を支える活動

## 2 研究の概要

### (1) 初任者教員の実態把握と初任者支援の視点の明確化

今年度採用された本県の小・中学校の初任者教員を対象とした「令和2年度における初任者教員の実態に関する調査」の結果分析を通して、初任者支援の視点を明確にする。

### (2) ピア・サポートを踏まえた校内研修の実践

メンター方式を導入した小学校1校及び中学校1校を研究協力校とし、初任者教員の困り事や悩みを支援するためのピア・サポートを踏まえた研修を通して、メンターチームによる初任者研修を充実させる校内研修の在り方を探る。

## 3 研究の成果と今後の課題

### (1) 研究の成果

① 「令和2年度における初任者教員の実態に関する調査」においては、小・中学校の初任者教員340名からの回答が得られた。調査結果を統計的に分析し、初任者支援の視点を明確にすることができた。

② 研究協力校において、メンターチームのリーダーや研修コーディネーターが初任者の実態を把握し、初任者教員の困り事や悩みを支援するために、助言や実践例を伝えるピア・サポートを踏まえた研修を展開することができた。

③ 初任者教員の感想やインタビューから、初任者教員はピア・サポートを踏まえた校内研修で、メンターチームの教員から提供された助言や実践例を基に、工夫しながら自分の実践に生かしていることを把握することができた。

### (2) 今後の課題

① ピア・サポートを踏まえた校内研修の在り方を今後も探る。

② 研究協力校の初任者教員とメンターチームの教員への事後調査を行い、ピア・サポートを踏まえた校内研修の効果を検証する。

③ 初任者教員の実態調査の結果や校内研修の事例をまとめ、発信する。